

令和4年(2022年) 5月11日(水) 13877号



## 株式会社 日刊金属

本社 大阪府北区天満2丁目12番地3号  
 ヴィレッジリバー南森町3階E号  
 TEL: 06-6353-7831  
 FAX: 06-6353-7832  
 MAIL: metal\_info\_osaka@nikkankinzoku.co.jp  
 WEB: https://home.nikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円  
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

### 鉱工業生産 出荷2月

### 生産2か月連続 出荷は3か月ぶり上昇

### 「持ち直しの動き」据え置き 経済産業省

経済産業省がこのほど発表した2022年3月の鉱工業生産・出荷・在庫動向によると、生産指数(2015年=100、季節調整済み)は96.5、前月比プラス0.3%と2か月連続の上昇となった。生産は、自動車工業などで低下したものの、生産用機械工業や化学工業(無機・有機化学工業・医薬品除く)などで上昇したため、出荷は3か月ぶりに上昇。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」を据え置いた。

生産動向は、昨年10月から12月にかけて3か月連続で上昇したが、再び部材の供給不足やコロナの急拡大などを受けて1月は低下。2月は、部材供給不足などが緩和したことを受けて上昇に転じ、3月は、世界的なコロナの影響緩和などを受け、半導体製造装置をはじめ需要が増加したことなどから2か月連続で上昇した。

業種別では、全15業種のうち8業種が前月比で上昇し、7業種は低下した。3月は、福島県沖地震などを受けて自動車工業などが低下したものの、コロナの影響が緩和したことなどから、生産用機械工業などが需要の増加などにより、また化学工業が新製品などの生産拡大により上昇したため、全体として上昇した。

上昇寄与の最も大きかった生産用機械工業は、半導体製造装置や繊維機械、ショベル系掘削機械などが主な上昇要因。半導体製造装置は、半導体不足の影響を受けて、設備投資需要が引き続き堅調であることなどから上昇した。繊維機械やショベル系掘削機械は、コロナの影響緩和などを受けて需要が増加したことなどから上昇したとみられる。次に上昇寄与度の大きかった化学工業は、合成洗剤や仕上用化粧品などが主な上昇要因。新製品などの生産増加を受けて上昇したとみられる。

出荷は季節調整済指数93.2、前月比0.5%と3か月ぶりの上昇となった。全15業種のうち10業種が上昇、5業種が低下した。自動車工業などが低下したものの、生産用機械工業や輸送機械工業(自動車工業除く)などで上昇したことから全体として上昇した。

上昇寄与の最も大きかった生産用機械工業は、ショベル系掘削機械や繊維機械、半導体製造装置などが主な上昇要因。これらは生産と同様の理由で上昇したものとみられる。

次に上昇寄与度の大きかった輸送機械工業は、鋼船、航空機用発動機部品、航空機用機体部品が主な上昇要因。航空機用発動機部品や航空機用機体部品は、コロナの影響緩和などを受け、今後の航空需要の回復期待が高まり、上昇したものとみられる。

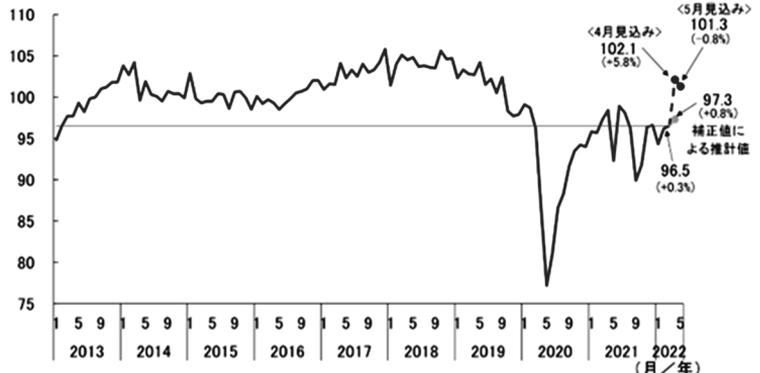
財別出荷指数は、非耐久消費財が同2.0%の上昇、資本財(輸送機械除く)が同1.4%の上昇、建設財が同2.2%上昇、生産財が同0.1%上昇となり、耐久消費財を除き上昇した。

先行きは、企業の生産計画では4月は上昇、5月は低下となっているもののほとんどの業種で上昇。4月の補正值は同0.8%上昇で3か月連続の上昇を見込んでいることから、ならしてみると持ち直しの動きにあるとみられる。引き続き、コロナ変異タイプの拡大や部材供給不足、物価上昇、ウクライナ情勢などへの注視が必要としている。

### 鉱工業生産指数の動向と先行き

・2022年3月の鉱工業生産指数は、96.5(前月比0.3%)と2か月連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)



## マグネシウム需要 22年予測 前年比6.2%増 2年連続プラス 日本マグネシウム協会

一般社団法人日本マグネシウム協会（井上正士会長）はこのほど、国内マグネシウム需要の2021年実績と22年予測を発表した。

予測は3万4800トン、21年比で6.2%増とし、増加は2年連続。主力の添加材向けは、コロナ禍により沈んできた航空機関連などの需要回復を見込んでいる。

マグネシウムはアルミ合金などの強度を高めるレアメタルで、約7割の添加材向けは21年比8.1%増の26,200トンと予測している。航空機向けの回復が見込まれており、チタン製錬部門は227.3%の1,000トンとしている。

### <22年の需要予測>

輸出を含む総需要は、19年の水準まで回復し、前年比6.4%増、35,000トンと予測している。

①構造材向けは、マグネシウムの価格高騰が続いていることや、主要な自動車分野の生産台数減産と世界情勢を受けて増加見込みが低いことから、各部門とも横ばい推移、合計も横ばいの7,300トンとした。

②添加材向けも、各材料の価格高騰や世界情勢により大きな増加は見込めないものの、アルミ合金添加部門は前年比3.0%増の17,000トン、鉄鋼脱硫部門が同14.3%増の4,000トン、ノジュラー 鋳鉄は8.0%増の2,700トン、化学・触媒部門同15.4%増の1,500トンと、19年の水準までに回復。

チタン製錬部門も世界情勢により国内生産の増加が期待されることから、同127.3%増の1,000トンとなり、合計は同8.4%増の26,200トンと予測している。

③防食その他と輸出は若干の増加で推移するものとみている。

### <21年の需要実績>

①国内需要量は、構造材向けマグネシウム合金が同9.6%増の7,300トン、添加材向け純マグネシウムが同8.4%増の24,240トン、防食その他向けが同23.0%増の1,230トン。輸出が同37.3%増の140トン、全体では同9.2%増の32,910トンとなった。年後半、中国のエネルギー抑制政策の影響により原料供給不安、価格高騰状況になったこともあり、19年以前の水準には達しなかったが、コロナの影響を大きく受けた20年からは回復基調となった。

②コロナ禍が続いたものの、製造業全

世界を結ぶ循環流通サービス  
原料から製品まで

**Ogico** OHSITANI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号  
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地  
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号  
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・  
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

体が回復基調になったことにより、マグネシウム合金を使用する構造材向けも回復基調となった。

主要なダイカスト部門が同10.6%増の5,200トン、射出成形部門が同4.2%増の1,000トン、展伸材部門は同14.3%増の800トンとなり、鋳物部門とその他合金は横ばいだった。

③純マグネシウムを使用する添加材向けは、アルミニウム、鉄鋼の需要回復により、アルミ合金添加部門が同13.8%増16,500トン、鉄鋼脱硫部門が同16.7%増3,500トン。ノジュラー 鋳鉄部門、化学・触媒部門はほぼ横ばいのそれぞれ同0.8%減2,500トン、同3.7%減1,300トン。チタン製錬部門は、航空機分野でコロナの影響が続いていることもあり同56.0%減の440トンとなった。

④防食その他は、防食向けが約100トンでほぼ横ばいの推移。その他特殊用途が増加し、同23.0%増の1,230トンとなった。

⑤輸出は財務省貿易統計の純マグネシウム地金とマグネシウム合金地金の合計で同37.3%増の140トンとなった。

(単位: トン)

分類\年	2017	2018	2019	2020	2021	21/20比	2022 予測	22/21比 予測
ダイカスト	4,800	5,200	5,100	4,700	5,200	110.6%	5,200	100.0%
鋳物	70	130	190	100	100	100.0%	100	100.0%
射出成形	480	960	1,200	960	1,000	104.2%	1,000	100.0%
展伸材	770	800	800	700	800	114.3%	800	100.0%
その他合金	230	400	300	200	200	100.0%	200	100.0%
構造材小計	6,350	7,490	7,590	6,660	7,300	109.6%	7,300	100.0%
アルミ合金添加	22,000	17,100	17,000	14,500	16,500	113.8%	17,000	103.0%
鉄鋼脱硫	5,500	4,000	4,140	3,000	3,500	116.7%	4,000	114.3%
ノジュラー 鋳鉄	2,600	2,700	2,700	2,520	2,500	99.2%	2,700	108.0%
チタン製錬	600	700	1,010	1,000	440	44.0%	1,000	227.3%
化学・触媒	1,800	1,800	1,500	1,350	1,300	96.3%	1,500	115.4%
添加材小計	32,500	26,300	26,350	22,370	24,240	108.4%	26,200	108.1%
防食その他	990	1,100	925	1,000	1,230	123.0%	1,300	105.7%
内需小計	39,840	34,890	34,865	30,030	32,770	109.1%	34,800	106.2%
輸出	227	258	225	102	140	137.3%	200	142.9%
総需要	40,067	35,148	35,090	30,132	32,910	109.2%	35,000	106.4%



### 5月の銅合金地金 標準販売価格を決定 近畿青銅会

近畿青銅会は5月の銅合金地金標準販売価格を発表した。各種品目の標準販売価格は次の通り(単位：キロ当たり円、カッコ内は前回比)。

- ◇青銅BC1種 1,355円 (◎50)
- ◇青銅BC2種 1,770円 (◎80)
- ◇青銅BC3種 1,880円 (◎85)
- ◇青銅BC6種 1,515円 (◎80)
- ◇青銅BC7種 1,635円 (◎75)
- ◇黄銅YBSC3種 1,200円 (◎35)

- ◇鉛青銅LBC3種 1,820円 (◎85)
- ◇りん青銅PBC2種 1,900円 (◎70)

アルミニウム地金  
アルミニウム原料

熟練ポット炉技術で歩留まり UP!

## 井関金属株式会社

代表取締役 井関親亮

〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407

☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667



### 錫建値は300円引き下げの 6,400円

5月の月内平均価格は6,440円

三菱マテリアは10日、高純度錫地金(99.99%＝フォーナイン)の相対価格を300円引き下げの6,400円にすると発表、同日より適用した。5月の月内平均価格は6,440円。直近6か月の価格推移は次の通り(円/キロ、カッコ内は平均)。

**2021年**

12月…6,000(1) 5,900(14) 平均5,950.0

**2022年**

1月…5,950(4) 6,150(14) 6,400(21) 6,250(26)  
平均6,140.0

2月…6,300(1) 6,400(17) 平均6,340.0

3月…6,600(1) 6,800(7) 6,600(14) 6,500(22)  
平均6,610.0

4月…6,800(1) 7,000(7) 6,900(25) 平均6,940.0  
5月…6,700(2) 6,400(10) 平均6,440.0

## 鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造  
砲金くず・ラジエーターくず等



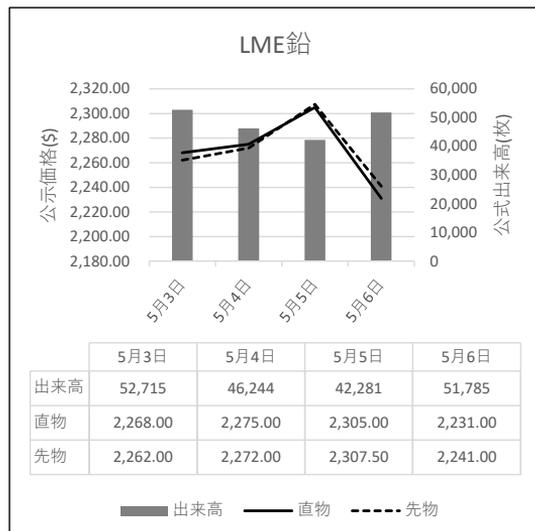
角丁原料全般買受け

## 京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314

電話 0774-43-6700(代表)

〰️ LME公式値週間推移 5月3日～5月6日(現地)



# 故銅市況

10日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の9,428.00ドルより268.00ドル安の9,160.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,411.50ドルより170.60ドル安の9,240.40ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,425.00ドルより263.00ドル安の9,162.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,414.50ドルより177.00ドル安の9,237.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の7月限は、前営業日の426.70セントより7.35セント安の419.35セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の6月限は、前営業日の7万2,170元より490元安の7万1,680元。

10日の東京為替市場TTSレートは、前日の131.78円より0.75円の円高ドル安、1ドル=131.03円。10日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,160.00ドル。

## 故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(5月9日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が990~995、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは955~960、並銅は920~930、込銅（高品位=約97%）は910、セバは782~787。コーペルは要り用筋で723、それ以外は708ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋733、それ以外703~713どころの値頃。並青銅鋳物削粉は805~810どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が970~990、上銅新くずが935~955、普通上銅が910~930、2号銅線が902~922、並銅が900~920、込銅(94-97%)が848、込銅(90-93%)が850、下銅が522~572、セバが747~782、コーペルが663~708、黄銅棒地が658~703、黄銅削粉が653~698、黄銅ラジが618~626、交叉ラジが529~586、黄銅銅鋳物が519~526、送りが367~386、上青銅鋳物が802~822、並青銅鋳物が782~797、上青銅鋳物削粉が797~817、並青銅鋳物削粉が772~792どころ。

## アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

### 関東地区 (5月前半)

2S=265円~285円、63S=249円~280円、アルミホイール(1P)=161円~275円、ビス付サッシ=122円~131円、エンジンコロ=130円~138円、込合金(機械鋳物)=128円~136円、缶プレス(ソフト)=101円~111円。

### 関西地区 (5月前半)

2S=252円~255円、63S=255円~285円、印刷版=245円~248円、アルミホイール(1P)=226円~236円、ベースメタル=194円~198円、機械鋳物=141円~144円、ドライ粉=120円~123円、ビス付サッシ=138円~153円、缶プレス=128円~133円。

この値と10日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の128万円より4万2,000円安の123万8,000円。この日、電気銅建値は128万円に据え置かれた。

### 為替動向

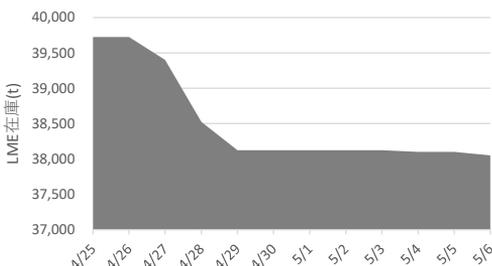
9日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前週末と比べ0.0060ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0520ドル~1.0530ドルで推移していた。米国の金融引き締め観測を背景にユーロ売りドル買いが優勢となっていた。

9日のニューヨーク外国為替市場で円相場は3営業日ぶりに反発した。前週末と比べ0.20円の円高ドル安、1ドル=130.30円~130.40円で取引を終えた。9日、ミネアポリス連銀の総裁はCNBCのインタビューで、インフレ抑制にはサプライチェーンの混乱解消が不可欠との認識を示した。また、アトランタ連銀総裁はブルームバーグ通信に対して0.5%の利上げを今後2~3回実施する可能性に言及。いずれも積極的な金融引き締めを示唆する発言と受け止められ円売りドル買いが先行したが、株安を背景に長期金利が低下、円が買い直された。

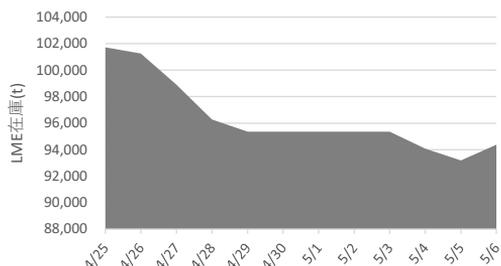
10日早朝の東京外国為替市場は円相場が上昇して始まった。8時30分、前日17時と比べ0.89円の円高ドル安、1ドル=130.31円~130.33円だった。9日、米国の株式相場は大幅に下落。国債が買われ長期金利が低下した。日米の金利差がやや縮小、円買いドル売りが先行した。

## LME認定倉庫在庫推移 4月25日~5月6日(現地)

鉛



亜鉛





LME銅相場は急落、2営業日で約4%安 中国需要の低迷と米金利上昇の影響  
 COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場も続落  
 LME非鉄相場はほぼ全面安 ニッケルは5営業日続落で12~13%安



10日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、5月7日入電の9,428.00ドルより268.00ドル安の9,160.00ドル。2営業日の続落で3.99%安。この週2.84%の下落。5月に入って6.73%の下落。3か月物の前場売値は、5月7日入電の9,425.00ドルより263.00ドル安の9,162.00ドル。2営業日の続落で3.97%安。この週2.79%の下落。5月に入って6.72%の下落。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地5月6日の17万0,025トンより850トン減の16万9,175トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、5月限が、5月7日入電の426.15セントより6.85セント安の419.30セント。3営業日の続落で3.13%安。この週1.61%の下落。5月に入って4.60%の下落。6月限は、5月7日入電の426.40セントより7.25セント安の419.15セント。3営業日の続落で3.28%安。この週1.70%の下落。5月に入って4.81%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、5月限が、5月7日入電の7万2,660元より430元安の7万2,230元。3営業日の続落で1.90%安。この週0.59%の下落。5月に入って1.90%の下落。中心限月に当たる6月限は、5月7日入電の7万2,170元より490元安の7万1,680元。3営業日の続落で2.25%安。この週0.68%の下落。5月に入って2.25%の下落。

**錫も続落**

LME錫相場の前場売値は、直物が、5月7日入電の4万0,585.00ドルより2,585.00ドル安の3万8,000.00ドル。2営業日の続落で6.81%安。この週6.37%の下落。5月に入って6.86%の下落。3か月物の前場売値は、5月7日入電の4万0,275.00ドルより2,275.00ドル安の3万8,000.00ドル。2営業日の続落で6.11%安。この週5.65%の下落。5月に入って5.94%の下落。

LME公認倉庫の錫在庫は現地5月6日の3,120トンよりトン減の3,120トン。

**鉛も続落**

LME鉛相場の前場売値は、直物が、5月7日入電の2,231.00ドルより102.00ドル安の2,129.00ドル。2営業日の続落で7.64%安。この週4.57%の下落。5月に入って6.58%の下落。3か月物の前場売値は、5月7日入電の2,241.00ドルより102.50ドル安の2,138.50ドル。2営業日の続落で7.32%安。この週4.57%の下落。5月に入って5.96%の下落。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地5月6日の3万8,050トンより50トン減の3万8,000トン。

**亜鉛も続落**

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、5月7日入電の3,829.00ドルより174.00ドル安の3,655.00ドル。2営業日の続落で8.46%安。この週4.54%の下落。5月に入って13.22%の下落。3か月物の前場売値は、5月7日入電の3,807.00ドルより160.00ドル安の3,647.00ドル。2営業日の続落で7.95%安。この週4.20%の下落。5月に入って12.42%の下落。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地5月6日の9万4,375トンより1,800トン減の9万2,575トン。

**アルミも続落 アルミ合金は下落 北米特殊はまちまち**

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、5月7日入電の2,832.50ドルより124.50ドル安の2,708.00ドル。3営業日の続落で7.55%安。この週4.40%の下落。5月に入って10.89%の下落。3か月物の前場売値は、5月7日入電の2,870.00ドルより120.00ドル安の2,750.00ドル。3営業日の続落で7.17%安。この週4.18%の下落。5月に入って9.66%の下落。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地5月6日の57万1,800トンより万3,550トン減の56万8,250トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、5月7日入電の2,185.00ドルより35.00ドル安の2,150.00ドル。下落して1.60%安。この週1.60%の下落。5月に入って1.60%の下落。3か月物の前場売値は、5月7日入電の2,185.00ドルより35.00ドル安の2,150.00ドル。下落して1.60%安。この週1.60%の下落。5月に入って1.60%の下落。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、5月7日入電の2,949.00ドルより1.00ドル高の2,950.00ドル。4営業日ぶりの反発で0.03%高。この週0.03%の上伸。5月に入って0.34%の下落。3か月物の前場売値は、5月7日入電より横ばいの2,943.00ドル。この週横ばい。5月に入って0.24%の下落。

**ニッケルは続落**

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、5月7日入電の2万9,930.00ドルより1,530.00ドル安の2万8,400.00ドル。5営業日の続落で12.43%安。この週5.11%の下落。5月に入って12.43%の下落。3か月物の前場売値は、5月7日入電の3万0,040.00ドルより1,690.00ドル安の2万8,350.00ドル。5営業日の続落で12.84%安。この週5.63%の下落。5月に入って12.84%の下落。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地5月6日の7万3,464トンより156トン減の7万3,308トン。

LME公示価格(US\$)／5月9日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,160.00	38,000.00	2,129.00	3,655.00	2,708.00	2,150.00	2,950.00	28,400.00
	前営業日比	▲ 268.00	▲ 2,585.00	▲ 102.00	▲ 174.00	▲ 124.50	▲ 35.00	1.00	▲ 1,530.00
先物	公示価格	9,162.00	38,000.00	2,138.50	3,647.00	2,750.00	2,150.00	2,943.00	28,350.00
	前営業日比	▲ 263.00	▲ 2,275.00	▲ 102.50	▲ 160.00	▲ 120.00	▲ 35.00	0.00	▲ 1,690.00

海外非鉄金属相場

(5月10日 入電・現地 5月9日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 5月限, 6月限, 7月限, 8月限, 9月限, 前日比, 出来高.

採算価格
プレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

Table with columns: 米国生産者価格(地金), 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社.

Table with columns: NY相場, 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド).

Table with columns: ロンドン相場(ドル), 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド).

Table with columns: KLT M 銅 (MYR/KG, 出来高トン), (9日), (10日), 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ.

Table with columns: LME在庫(トン), 在庫, 増減, 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

Table with columns: 上海在庫(トン), 在庫, 増減, (5/6現在), 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

Table with columns: LMEプレマーケット(ドル), 先物気配, (5/10), (3:00AM現地), 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

Table with columns: 上海相場, トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込, 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル, 5月限, 6月限, 前日比, 出来高.

※10日のKLT Mは取引がありません。

Table with columns: 為替相場, LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海, 元・円 = 19.54, ドル・円, 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル, TTS, 131.03, -0.75.

非鉄金属製品相場

(5月10日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	1560	1505	亜鉛板0.3×3×7	620	620	<b>V V F</b>	
建築用0.3ミリ	1610	1555	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6	54~56
銅大板2×1×2	1690	1705	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0	96~99
銅管(ベース)	1620	1695	鉛板1.5ミリ	591	591	3C×1.6	100~103
水道用管(m当たり)13ミリ	1530	1575	鉛線3ミリ	470	470	3C×2.0	147~150
銅棒25ミリ	1470	1475	<b>軽圧品</b> 大阪 東京		<b>I V</b>		
銅条1.5×100	1525	1520	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm	32.5~34.6
銅線0.9ミリ	1550	1535	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq	88.9~94.5
銅帯6×50	1480	1475	〃 大板1ミリ	720	685	14sq	222~236
銅平角線	1750	1705	〃 5052板	775	735	<b>CV-T</b>	
黄銅小板2.0ミリ	1315	1315	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38	1690~1797
〃 0.3ミリ	1345	1345	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60	2605~2769
黄銅大板2×1×2	1465	1495	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100	4376~4651
黄銅管	1825	1745	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38	2695~2860
復水器用黄銅管	1795	1715	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60	3771~4001
黄銅棒快削25ミリ	1085	1110	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	<b>CVV</b> (関西~関東)	
六角棒	1115	1140	<b>貴金属(一般小口向け)</b>		3C×2 131~134		
四角棒	1145	1170	白金(グラム)	◆ 4499		4C×2	176~180
鍛造用	1125	1150	パラジウム(グラム)	◎ 10026		6C×2	250~256
ネーバル	1225	1250	金(グラム)	◆ 8588		7C×2	286~293
高力	1225	1250	銀(キログラム)	◆ 103730		<b>合金鉄</b> 3月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1490	1495	<b>レアメタル輸入価格</b> 3月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 224		
黄銅平角線ロール仕上	1690	1705	金属ケイ素(99.99%未満)	482		〃 その他	307.8
黄銅条1.5×100	1310	1330	モリブデン酸化物	3347		フェロシリコン55%以上	257
リン青銅板一般用1.0ミリ	2980	3270	タンタル	45502		フェロクロム4%以上炭素含有	226.8
〃 バネ用0.3ミリ	3260	3570	マグネシウム	-		フェロモリブデン純分60%以上	3472
リン青銅棒25ミリ	3060	3340	コバルト	8944		フェロバナジウム	3322
リン青銅線3ミリ	3460	3780	インジウム	27327		フェロニッケル33%未満	725.3
洋白板一般用1.0ミリ	3800	4300			電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326		
〃 バネ用1.0ミリ	3950	4430					

減摩合金	5月2日改定	銅合金地金	5月9日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	6310	BC 1種	◎ 1355
2種	6110	2種	◎ 1770
3種	5900	3種	◎ 1880
4種	5165	6種	◎ 1515
5種	4985	7種	◎ 1635
7種	1595	YBSC 3種	◎ 1200
8種	1345	LBC 3種	◎ 1820
9種	1155	PBC 2種	◎ 1900



非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(5月10日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		39,000 ~ 42,000(1)	
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	高値	安値
非鉄原料 (炉前材)								
1 トン以上外税持込					高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	1140	1133	電 気 銅	◆ 1216	◆ 1211	◆ 1218	◆ 1213	
2 号 銅 線	1088	—	電 気 亜 鉛	540	534	540	534	
上 銅 ( 新 切 )	1111	1098	蒸 留 亜 鉛	528	522	528	522	
雑 ナ ゲ ッ ト	961	964	再生ダイカスト亜鉛2種	440	434	440	434	
並 銅	1043	1031	再 生 亜 鉛 (98%)	378	372	378	372	
下 銅	1024	1004	電 気 鉛	333	330	332	329	
銅 削 粉	1023	1007	再 生 鉛 1 号	318	308	309	304	
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	322	318	314	310	
新 切 黄 銅 セ バ	890	896	錫 1 号	5400	5350	5400	5350	
コ ー ベ ル	857	854	ア ン チ モ ン	2050	2000	2050	2000	
黄 銅 棒 地	841	842	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	◆ 4000	◆ 3950	◆ 4000	◆ 3950	
黄 銅 削 粉	835	838	コ バ ル ト	12200	11900	12200	11900	
並 黄 銅	719	689	セ レ ニ ウ ム	3600	3400	3600	3400	
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	698	673	ビ ス マ ス	1300	1200	1300	1200	
交 叉 ラ ジ エ タ ー	667	645	カ ド ミ ウ ム	550	500	550	500	
黄 銅 鑄 物	724	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	800	780	800	780	
山 送 り (55%)	◆ 420	—	アルミ地金 99.70 %	◆ 399	◆ 395	◆ 401	◆ 397	
上 青 銅 鑄 物	886	—	アルミ二次地金 99 %	385	380	385	380	
並 青 銅 鑄 物	884	873	〃 90 %	316	311	316	311	
上 青 銅 鑄 物 削 粉	879	—	アルミ二次合金ADC12	454	449	457	452	
並 青 銅 鑄 物 削 粉	869	861	鑄 物 用 C2BS	479	474	481	476	
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1138	青 銅 合 金 地 金 3 種	1715	1705	1750	1740	
〃 ( 鑄 物 )	1003	—	〃 6種	1385	1375	1380	1370	
リ ン 青 銅 削 粉	916	906	ハ ン ダ 錫 60 %	4225	4185	4245	4215	
新 切 洋 白 (電 子 材)	938	923	〃 50 %	3630	3580	3650	3620	
新 切 亜 鉛	233	233	〃 40 %	3085	3025	3045	3015	
ダ イ カ ス ト く ず	198	198	減 摩 合 金 2 種	6075	6045	6080	6050	
亜 鉛 ド ロ ス	176	187	〃 4 種	5130	5105	5135	5105	
上 鉛	141	139	〃 7 種	1575	1525	1575	1525	
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	30	30	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		185	185	
活 字 鉛	126	123		〃 ダライ粉		170	170	
新 切 ア ル ミ 1 級	◆ 302	◆ 299		高耐食ステンレスSUS316		340	340	
新 切 サ ッ シ 1 級	◆ 302	◆ 297		耐熱ステンレスSUS310		555	555	
新 切 合 金 1 級	◆ 287	◆ 277		13クローム 新切		36	39	
機 械 鑄 物 1 級	◆ 205	◆ 205		ハ イ ス 9種		220	220	
ピ ス 付 サ ッ シ P	◆ 228	◆ 220						
合 金 削 粉 P	◆ 150	◆ 150						
込 ガ ラ P	◆ 145	◆ 142						
カ ン ・ バ ラ	◆ 215	◆ 206						

非鉄金属材料相場面

PW:KINZOKU2205